

様式第4号(第7条関係)

簡易な収入見込額の申立書(申請者本人用) 【家計急変者】

- 「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)申請書(請求書)」と一緒にご提出ください。
- 下記にある【要件1】及び【要件2】の両方を満たす場合に支給の対象となります。
※申請者と生計を同じくする扶養義務者などがある場合は、その方の年間収入見込額も勘案して支給を決定します。

要件1

① 下記にチェック(☑)してください。

新型コロナウイルス感染症等の影響により、収入が減少しました。

養育費なしの場合、0と記入してください。

→【要件1】①にチェックが入っていること。

- ※申請者または申請者と生計を同じくする以下の方が新型コロナウイルス感染拡大等の影響で、収入が減少した場合にチェックしてください。
 - ・申請者の配偶者
 - ・申請者の父母、祖父母、子、孫などの直系血族または兄弟姉妹
- (※)申請者本人が児童の父または母の場合は、これらの方が申請者と同居していることが原則となります。
- ※上記の申請者と生計を同じくする方がいる場合には、「簡易な収入見込額の申立書(扶養義務者等用)」も併せてご提出ください。

② 申請者の令和4年1月以降の任意の月の収入(1か月)の内訳及びその合計額をご記入ください。

令和4年7月												注意事項	
収入内訳	養育費【A】											円	※養育費の支給を受けている場合にご記入ください。
	給与収入【B】											円	※給与収入がある場合にご記入ください。 ※給与明細書などの収入額が分かる書類をご提出ください。
	事業収入又は不動産収入【C】	1	2	0	0	0	0	0				円	※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※月次内訳書などの帳簿をご提出ください。
	年金相当収入【D】 (a-b)											円	※年金収入【a】-児童扶養手当相当額【b】で計算した額をご記入ください。
	年金収入【a】											円	※公的年金収入がある場合にご記入ください。 ※遺族年金・障害年金などの非課税の年金等も含まれます。 ※年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの支給額がわかる書類をご提出ください。
	児童扶養手当相当額											円	※遺族年金・障害年金などの非課税の年金等を有する場合、児童扶養手当相当額早見表を確認いただき、該当する金額をご記入ください。
収入合計額 【A+B+C+D】	2	7	3	2	4	7						円	※青枠の収入額の合計額をご記入ください。

任意の1か月分の総支給額を記入してください。
※賞与は含まれません。
(ひとり親世帯になってからの収入を記入してください。)

任意の1か月分の収支がわかる帳簿、月次内訳書などを提出してください。

公的年金収入がある場合のみご記入ください。
※任意の1か月分(2か月分の振込額を2で割った額)の年金額を記入してください。

児童扶養手当が支給停止の場合も該当する金額を記入してください。

青枠の合計額をご記入ください。

※上記以外の収入については記載不要です。

※児童扶養手当相当額早見表(月額)

申請日時点での児童数	支給額(月額)
児童0人	0円
児童1人	10,160円
児童2人	15,250円
児童3人	18,330円
児童4人	21,350円

※5人以上いる場合は、1人増えるごとに3,050円(月額)を加算してください。

×12

③ ②の収入合計額を12倍した金額をご記入ください。

年間収入見込額	3	2	7	8	9	6	4	円
---------	---	---	---	---	---	---	---	---

→扶養親族が1人の場合には、③が365万円未満であれば【要件2】を満たすため、④の記載は不要です。

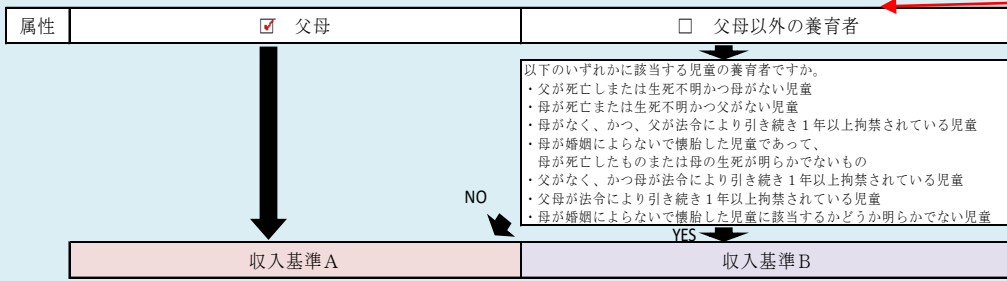
収入合計額
黒枠をX12して算出した年間の収入見込額を、赤枠に記入してください。

(次ページに続きます) ※次ページに氏名の記入欄があります。必ずご記入ください。

次ページに署名欄があります。要件を満たす方は必ずご記入ください。

④ 要件に該当するか確認してください。

(1) 以下のフローチャートにより、収入基準を選択してください。



あてはまる箇所にチェックして下さい。

(2) 申請者が生計を同じくし養っている親族または養っている親族以外の児童の氏名をご記入ください。【☆】

	フリガナ 氏名	該当する場合は◎または○	
		16歳以上23歳未満の親族(◎)	70歳以上の親族、配偶者(○)
1	ヨナゴ イチロウ 米子 一郎		
2	ヨナゴ カズコ 米子 一子		
3	ヨナゴ ハナコ 米子 花子		○
4			
5			

	フリガナ 氏名	該当する場合は○
		70歳以上(配偶者以外)の親族
1		
2		
3		
4		
5		

(3) (2) でご記入いただいた方の人数にチェックをしてください。

人数	収入基準額
0人	3,114,000円
1人	3,650,000円
2人	4,125,000円
<input checked="" type="checkbox"/> 3人	4,600,000円
4人	5,075,000円
5人	5,550,000円
人	円

人数	収入基準額
0人	3,725,000円
1人	4,200,000円
2人	4,675,000円
3人	5,150,000円
4人	5,625,000円
5人	6,100,000円
人	円

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに475,000円を加算した金額をご記入ください。

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに475,000円を加算した金額をご記入ください。

(4) 要件に該当するかの計算をおこなってください。

i (3) で選択した基準額	4,600,000 円
ii (2) の◎の数×150,000円	0 円
iii (2) の○の数×100,000円	100,000 円
収入基準額 (i + ii + iii)	4,700,000 円
V	
年間収入見込額 (表面の③)	3,278,964 円

i (3) で選択した基準額	円
ii (2) の○の数×60,000円	円
(○以外の氏名がない場合は、○の数を1つ減らして計算)	
収入基準額 (i + ii)	円
V	
年間収入見込額 (表面の③)	円

→ 【要件2】③の年間収入見込額が収入基準額より低いこと。

※表面の【要件2】を満たさない場合でも、「簡易な所得見込額申立書」(ピンク色)の要件を満たすことにより支給の対象となります。

【確認事項】※申請に必要な事項であるため、必ず確認し、氏名をご記入ください。
(該当しない場合は、支給対象外となる可能性があるため、お問い合わせください。)

- ・ 【要件】に該当します。 ・ 収入額が分かる書類(給与明細書や年金額改定通知書等)を提出しています。
- ・ 今後1年間に収入の多い時期がある、臨時の収入がある時期があるなどの事情により、今後1年間の収入見込額が収入基準額を上回ることが明らかであるものではありません。
- ・ 本申立の内容に相違ありません。

令和 4年 11月 25日

申請者氏名 米子 太郎

要件2

年間収入見込額が収入基準額を下回る場合、要件に該当します。下記の【確認事項】を確認いただき、日付、氏名を記載してください。

年間収入見込額が収入基準を上回る場合でも、「簡易な所得見込額申立書」(ピンク色)の要件を満たすことで支給の対象になります。

※要件を満たす方は、必ず日付、氏名をご記入ください。

簡易な収入額の申立書(申請者本人用・扶養義務者用)で要件を満たした方は不要です。

様式第4号(第7条関係)

簡易な所得見込額の申立書
【家計急変者】

○「簡易な収入見込額の申立書(申請者本人用)」の【要件2】又は「簡易な収入見込額の申立書(扶養義務者等用)」の【要件】を満たさなくても、以下の【所得要件】を満たせば支給の対象となります。

★所得で申し立てたい方の氏名を記載の上、その方の申請者からみた属性にチェック(☑)してください。

氏名	米子 太郎	属性	<input checked="" type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 父母 <input type="checkbox"/> 祖父方 <input type="checkbox"/> 子 <input type="checkbox"/> 孫 <input type="checkbox"/> 曾祖父母 <input type="checkbox"/> 曾孫 <input type="checkbox"/> 兄弟姉妹 <input type="checkbox"/> 配偶者
----	-------	----	--

所得で申し立てたい方の氏名と、申請者からみた属性にチェックしてください。

以下、上記の氏名の方についての必要な情報をご記入してください。

A 「簡易な収入見込額の申立書(申請者本人用)」または「簡易な収入見込額の申立書(扶養義務者等用)」の③欄の金額をご記入ください。

年間収入見込額	3 2 7 8 9 6 4 円
---------	-----------------

「簡易な収入額の申立書」(申請者本人用または扶養義務者用)で算出した「③ ②」の収入合計額を12倍した金額をご記入ください。」で算出した金額をご記入ください。

控除等

B Aの年間収入見込額のうち、養育費に係る控除の見込額(12か月分)

養育費を記入した方	0 円	※養育費の20%の金額をご記入ください。 ※1円未満の端数が生じる場合は四捨五入してください。
-----------	-----	--

C Aの年間収入見込額のうち、給与収入に係る給与所得控除の見込額(12か月分)

給与収入を記入した方	5 5 0 0 0 0 0 円	※以下により控除額を計算の上、ご記入ください。
給与所得控除		①Aの額のうち給与収入分が55万円未満 → 給与収入分の全額 ②Aの額のうち給与収入分が55万円超162.5万円以下 → 55万円 ③Aの額のうち給与収入分が162.5万円超180万円以下 → 給与収入分×40% - 10万円 ④Aの額のうち給与収入分が180万円超360万円以下 → 給与収入分×30% + 8万円 ⑤Aの額のうち給与収入分が360万円超660万円以下 → 給与収入分×20% + 44万円

「簡易な収入額の申立書」(申請者本人用または扶養義務者用)で記載した月額給与収入額×12をしたあと、下欄で給与所得控除額を確認し、金額を記載してください。

D Aの年間収入見込額のうち、事業収入、不動産収入に係る必要経費の見込額(12か月分)

事業収入又は不動産収入を記入した方	1 4 4 0 0 0 円	※Aを算出するための任意の1か月の事業又は不動産収入のために要した経費の12か月相当額をご記入ください。 ※月次内取書などの帳簿をご提出ください。
-------------------	---------------	--

※月額給与収入が120,000円の場合
120,000円×12=1,440,000円(給与収入分)
給与所得控除55万円

E Aの年間収入見込額のうち、公的年金等収入に係る公的年金等控除の見込額(12か月分)

年金収入を記入した方	7 0 1 4 7 3 円	※以下により控除額を計算の上、ご記入ください。
公的年金等控除		①Aの額のうち年金収入分が60万円未満 → 年金等収入分の全額 ② " " 60万円以上130万円以下の方 → 60万円 ③ " " 130万円超410万円以下の方 → Aの額のうち公的年金等収入分×75% - 27.5万円 ④ " " 410万円超770万円以下の方 → Aの額のうち公的年金等収入分×85% - 68.5万円 ①Aの額のうち年金収入分が110万円未満 → 年金等収入分の全額 ② " " 110万円以上330万円以下の方 → 110万円 ③ " " 330万円超410万円以下の方 → Aの額のうち公的年金等収入分×75% - 27.5万円 ④ " " 410万円超770万円以下の方 → Aの額のうち公的年金等収入分×85% - 68.5万円

F その他の控除

控除名	a	5 8 0 0 0 0 円	e	円
控除名	b	円	f	円
控除名	c	円	g	円
控除名	d	円	h	円
その他控除額合計(a+b+c+d+e+f+g+h)		円		

「簡易な収入額の申立書」(申請者本人用または扶養義務者用)で記入した月額の年金額×12をしたあと、下欄で公的年金等控除額を確認し、控除額を記載してください。

G 社会保険料相当額

	8 0 0 0 0 0 円	※一律8万円の控除となるため、記載不要です。
--	---------------	------------------------

※月額の年金収入額108,497円の場合
108,497円×12=1,301,964円(公的年金等収入分)
公的年金等収入分×75%-27.5万円で算出

H 各控除等の控除後の年間所得見込額 A - (B + C + D + E + F + G)

年間所得見込額	1 6 4 6 4 7 3 円
---------	-----------------

→扶養親族が1人の場合には、Hが230万円未満であれば【所得要件】を満たすため、Iの記載は不要です。

(次ページに続きます) ※次ページに氏名の記入欄があります。必ずご記入ください。

次ページに署名欄があります。必ずご記入ください。

I 要件に該当するか確認してください。

(1) 以下のどちらか当てはまる方を選択してください。

「簡易な収入見込額の申立書」(申請者本人用)
収入基準Aの方

その他の方

(2) 「簡易な収入見込額の申立書」(申請者本人用または扶養義務者等用)【☆】と同じ人数にチェックしてください。

チェックしてください。		基準額
✓	人数	
	0人	1,920,000円
	1人	2,300,000円
	2人	2,680,000円
<input checked="" type="checkbox"/>	3人	3,060,000円
	4人	3,440,000円
	5人	3,820,000円
	人	円

チェックしてください。		基準額
✓	人数	
	0人	2,360,000円
	1人	2,740,000円
	2人	3,120,000円
	3人	3,500,000円
	4人	3,880,000円
	5人	4,260,000円
	人	円

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに380,000円を加算した金額をご記入ください。

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに380,000円を加算した金額をご記入ください。

(3) 「簡易な収入見込額の申立書」(申請者本人用または扶養義務者等用)【☆】を用いて計算を行ってください。

i (2) で選択した基準額	3,060,000 円
ii ☆の◎の数×150,000円	0 円
iii ☆の○の数×100,000円	100,000 円
所得基準額 (i + ii + iii)	3,160,000 円
年間所得見込額 (表面のH)	1,646,473 円

i (2) で選択した基準額	円
ii ☆の○の数×60,000円	円
(○以外の氏名がない場合は、○の数を1つ減らして計算)	
所得基準額 (i + ii)	円
年間所得見込額 (表面のH)	円

→ 【所得要件】Hの年間所得見込額が所得基準額より低いこと

【確認事項】※申請に必要な事項であるため、必ず確認し、氏名をご記入ください。
(該当しない場合は、支給対象外となる可能性があるため、お問い合わせください。)

- ・ 【所得要件】に該当します。
- ・ 控除額が分かる書類(帳簿等)を提出しています。
(前ページのD欄に記入した場合のみ)
- ・ 今後1年間に収入の多い時期がある、臨時の収入がある時期があるなどの事情により、今後1年間の所得見込額が所得基準額を上回ることが明らかであるものではありません。
- ・ 給付金の支給要件の該当性等を審査等するため、市区町村等が必要な扶養義務者の住民基本台帳情報や税情報、公的年金情報等の公簿等の確認を行うことや必要な資料の提供を他の行政機関等に求める・提供することに同意します。
- ・ 本申立の内容に相違ありません。

令和 4年 11月 25日

申請者氏名 米子 太郎

扶養義務者氏名 米子 花子

扶養親族が1人で表面H欄の金額が230万円未満となった方以外は、あてはまる箇所にチェックして下さい。

「簡易な収入額の申立書」(申請者本人用または扶養義務者用)【☆】と同じ人数にチェックしてください。

「簡易な収入額の申立書」(申請者本人用または扶養義務者用)【☆】を用いて計算を行ってください。

年間所得見込額が所得基準額を下回る場合、要件に該当します。下記【確認事項】を確認いただき、日付、氏名を記載してください。

※要件を満たす方は必ず日付、氏名をご記入ください。